



Title	運用会議報告 大阪大学大型計算機センターニュース No. 20
Author(s)	
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1976, 20, p. 46-46
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65297
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

第34回全国共同利用大型計算機センター 運用会議議事要旨

日 時 昭和50年10月3日(金)10:00~15:30

場 所 北海道大学大型計算機センター会議室

議 事

1. 報告事項

- (1) 各センターの現況について
- (2) 負担金検討小委員会について
- (3) 各研究会（プログラムライブラリー、統計項目）について
- (4) 要望書（TSS端末機器メーカーに対する要望、レンタル料増額に関する文部省への要望）の提出経過について
- (5) 事務長会議について

2. 審議事項

- (1) オンラインで他大学と接続する場合のセンター側の経費について（継続）

このことについて種々検討の結果、端局を設置する大学に対し、端局設置計画に際してはセンターと事前打合せを行ってほしい旨のPRを行うことおよび文部省へは端局設置要求機関に対し予算措置を講ずる場合にはセンターとの事前打合せについての行政指導とセンターに対しても必要により予算措置を講じてほしい旨の要望書を提出することになり、その文書を東北大学が作成し、上記の措置を講ずることになった。

- (2) 大型計算機センターの利用資格について（北海道大学提出）

北海道大学に新たに設けられた客員研究員の利用資格について提案主旨の説明の後種々検討の結果運用会議としては特別のケースであり現時点では各センターにおいて共通性がないので運用会議の意見を考慮したうえで北海道大学大型計算機センター限りとして処理することになった。

- (3) プログラム相談の機械化研究会の設置について（北海道大学 田中一教授提出）

提案者から提案主旨の説明の後種々検討の結果時限付きで独立した研究会として設置することとなり東京大学小野周教授を世話人として発足することになった。

なお、時限については、現在運用会議のもとに設置されている他の研究会についても同様の措置を講ずることとなり、その時限については各研究会で検討し、次回運用会議で決定することになった。

以上